


OITAスポGOMIブロック大会ルール①(概要・配点)

- ・各チーム3人1組でチームを組み、大会にエントリー。
- ・大会会場に集合し、ルール説明後トングとごみ袋を持ち各チームごみ拾い。
- ・制限時間60分(天候次第で短縮の場合あり)で指定エリア(当日開会式にて発表)内のごみを拾い、その質と量をポイントで競い合い、最も高得点を獲得したチームが優勝。

スポGOMIでのごみの種類とポイント

 **燃えるごみ** [赤 30ℓごみ袋]

紙類/布類/雑誌類/弁当・食品容器包装ごみ/コンビニ袋など

※草/落ち葉/枝/家屋廃材などは含まず。

100g → **10** point

 **燃えないごみ** [青 30ℓごみ袋]

ビニール傘/ガラス類/鍋/フライパン/瀬戸物類/電池/ライター/鏡/金属類など

※小型電化製品(ドライヤー/シェーバーなど)程度の大きさは可。それ以外は粗大ごみ扱い。ブロックやレンガは含まず。

100g → **10** point

 **たばこの吸殻** [半透明 レジ袋]

100g → **300** point

 **ビン/缶** [赤 30ℓごみ袋]

中身を捨てたもの

100g → **12** point

 **ペットボトル** [青 30ℓごみ袋]

中身を捨てたもの

100g → **25** point

 **粗大ごみ**

粗大ごみは処理が困難なため、拾わないものとする。配布するごみ袋(700mm×500mm=30ℓ)に入らない大きなごみ

例: 扇風機/布団/座布団/消火器/コンクリートブロック/金庫/金属棒/タイヤ/コンロ/パソコン/ベビーカー/炊飯器/ など

マイナス100 point

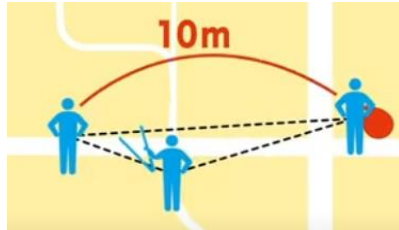
OITAスポGOMIブロック大会ルール②(競技面)

=競技面でのルール=

1:先頭と最後のメンバーの間隔が

10m以上離れないこと

※最後尾のメンバーがゴールラインを通過し、ゴール地点に立っている審判員に報告した時点がゴールとなります



2:捨ててはいけないもの

(例)

- 既にごみ箱に入っているごみ
- ごみの収集場所に置いてあるごみ
- 誰かが所有していると思われるごみ

※周囲の状況(整理して置いてある、最近も使った形跡がある等)から判断

•粗大ごみ

<定義>

配布するごみ袋(70cm×50cm=30ℓ)に入らない大きなごみ

例:バッテリー/扇風機/布団/座布団

消火器/コンクリート/ブロック金庫/金属棒/タイヤ
/車輪/コンロ/パソコン/ペーパー/炊飯器

- 危険なごみ(注射器、ガスボンベなど)
- 道路の側溝やドブ板を持ち上げて拾ったごみ



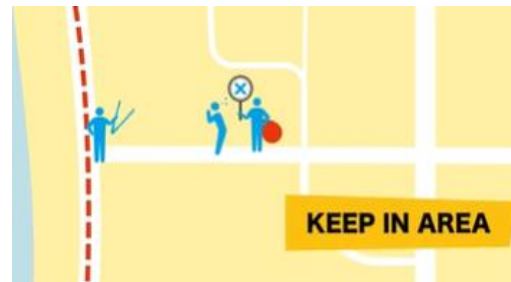
3:走らないこと(早歩きは可能)

<定義>

- 歩く:常にどちらかの足が地面についた移動
- 走る:両足が同時に地面から離れる
浮く、ジャンプする瞬間がある移動



4:競技エリアを守ること



5:立ち入り禁止エリアに入らない

- 川や河川敷
- 私有地

※駐車場について

コインパーキングは私有地ではあるが、誰でも使用できるという公共性が高いことから立ち入り可とする(企業・団体等専用の駐車場は不可とする)
・ 分別ルールを守ること

=対象=

1チーム3名で構成されており、そのうち2名以上は大分県内に在住または通勤・通学する者を含めること



6:交通ルールを守ること



OITAスポGOMIブロック大会ルール③(減点・失格について)

＝減点及び失格について＝

ルール違反時には審判から注意を受けることがあります。審判員から注意を受けて、繰り返し(2回以上)注意をしても従わない場合には減点、**悪質な場合には審判の判断で失格**にすることがあります。



▼減点となるケース

- ・「競技面でのルール」に違反した場合
- ・時間内にゴミ拾いを終えて戻ってこない場合
 - 1分ごとにマイナス10点、10分以上遅刻の場合は失格
 - (例) 1~59秒は-10点、60~119秒は-20点



- ・計量時ゴミの分別が正しくなされていない場合はマイナス100点
 - ゴミを分別した後に再度計量を実施する



- ・「拾ってはいけないもの」(詳細は先述)を拾ってきた場合マイナス100点

▼失格となるケース

- ・電車/バス/タクシー/自転車など、徒歩以外の手段で移動した場合



- ・落ちていたゴミを拾う以外の方法でゴミの重量を増やした場合
 - (例) 水で重さをかさ増しする/ゴミ箱のゴミを加える
 - /店舗からゴミをもらう etc



- ・スポーツマンシップにのっとっていない行為
 - (例) 暴力的行為に及ぶ、他チームや審判に悪態をつく等
 - 審判及びスタッフ等の注意を聞かず、悪質な行為を続けた場合
 - 定められたゴミ拾い終了時間から、10分以上遅刻して会場に戻ってきた場合

その他、ここに記載のない場合にも、危険・悪質、その他理由でスポーツゴミ拾いの趣旨と相応しくないと判断される行為は減点・失格の対象。※スタッフが判断